

## オーディオ実験室収載

### fidata HFAS1-S10 の活用(29) (HP 収載)

#### —DAC との LAN 接続(1)—

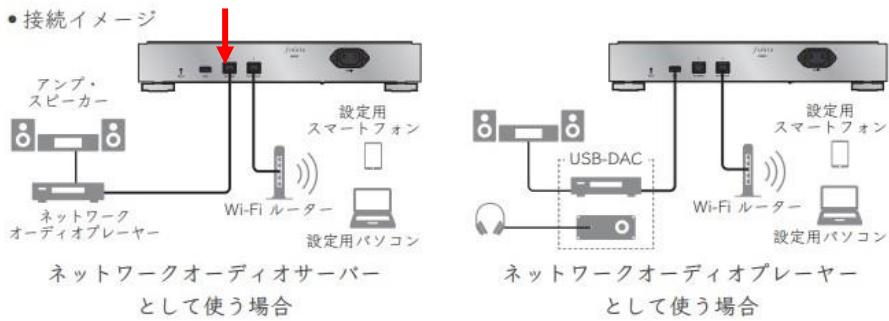
##### 1. はじめに

Sonica DAC との LAN 接続については [Sonica DAC の活用\(1\)](#)で報告していますが、その後は LAN 接続を実施せず、その時の印象から、もっぱらその他の DAC も含めて USB 接続を実施してきました。今回、LAN 接続について見直すことにしました。

##### 2. Sonica DAC との LAN 接続の試聴計画

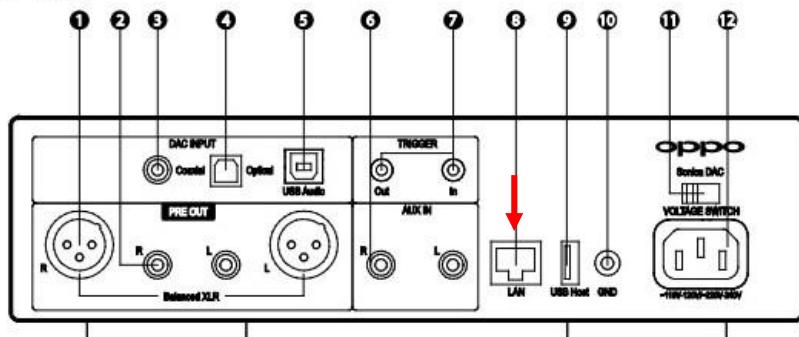
HFAS1-S10 と Sonica DAC の接続の復習ですが、下図に示した端子を LAN ケーブルで接続します。

HFAS1-S10 背面図



Sonica DAC 背面図

背面のコネクター



1. XLR バランスオーディオ出力	2. RCA オーディオ出力	3. 同軸デジタル入力
4. 光デジタル入力	5. USB オーディオ入力(Type B)	6. 外部入力 (RCA)
7. トリガー入出力	8. イーサネットポート	9. USB ポート (Type A, ホスト)
10. アース端子	11. 電圧切換えスイッチ	12. AC インレット

操作は、iPad にインストールした Sonica アプリを使用し、まずは、HFAS1-S10 収納の音源を再生します。

### 3. Sonica DAC との LAN 接続の試聴結果

今回は、音質評価はさておいて、HFAS1-S10 収納音源の再生がどのようなものかの確認です。

HFAS1-S10 収納音源は、PCM と DSD の各種音源がありますので、iPad の Sonica アプリの画面の HFAS1-S10 収納音源を指定して再生します。

その結果、PCM 音源では、44.1KHz、96KHz、192KHz などの音源が再生可能でした。一方、DSD 音源では、一部の 2.8MHz の音源は再生可能でしたが、5.6 MHz 以上のものは再生できませんでした。

HFAS1-S10 と USB-DAC との接続では、112MHzDSD 音源までの再生も可能なので、その理由は分かりませんが、Sonica アプリ自体も古いものですから、そういう事情かもしれません。

音質的には、Sonica DAC に仮想アースを接続するなどの対策を施しているので、印象は変ってきております。

### 4. まとめ

HFAS1-S10 と Sonica DAC との LAN 接続を行い、HFAS1-S10 収納音源の再生が可能になりました。

以上